

熱中症対策にかかる要望書

三田市教育長 鹿嶽 昌功様

2018年7月20日
日本共産党三田市議員団
国永紀子
長谷川美樹
長尾明憲

平素より、教育行政へのご精励に対し、敬意を表します。

さて、今年は猛烈な暑さが続いており、連日のように熱中症による被害のニュースが報道されております。7月9日から15日までの1週間に、熱中症で救急搬送された人数が9956（速報値）にのぼり、うち12人が死亡したと総務省消防庁が発表しております。この間、愛知県豊田市では熱中症による小学生の被害者もでております。

そんな中、中学校へのクーラー設置は非常に良かったと認識しています。しかし、高温注意報がでるほどのこの暑さは8月以降も続くといわれています。今後においても熱中症による児童・生徒の被害を出さないためにも、まだ普通教室にクーラー設置がされていない小学校への早期対応や、児童・生徒に代わる教員の正しい知識、判断が求められるのではないのでしょうか。そこで以下について要望します。

1. 熱中症対策について

- (1) 小学校の普通教室へのクーラー設置を前倒しして行うこと。
- (2) 運動全般、特に中学校の部活動については環境省が出している「運動に関する指針」にのっとり対応をすること。
- (3) 前項(2)を幼小中職員が正しい知識、判断ができるための指導を教育委員会が主導して行うこと。

以上